各位

2026 年 10 月 29 日

株式会社 GRCS

外部公開資産の PHP 脆弱性簡易リスクチェックを無料で提供
単なるパッチ適用にとどまらず、未把握の外部公開資産を可視化し セキュリティ体制の強化を支援

株式会社 GRCS（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐々木 慈和、以下 当社）は、 外部公開資産における PHP 脆弱性の有無を短期間で点検できる「簡易リスクチェック」を本日より無料で提供開始したことをお知らせいたします。

この簡易リスクチェックでは、自社のドメインに関連する外部公開資産において、直近の脅威である PHP 脆弱性が未把握、未対応のまま残存していないかを確認することが可能です。これを契機として自社の外部公開資産を網羅的に確認・対処し、攻撃者に先回りするプロアクティブなセキュリティ体制の確立を支援します。

＜背景＞

昨今、Web サーバーの脆弱性や管理不備を突いた不正アクセスにより、国内の幅広い事業者において深刻な情報漏えい事案が相次いでいます。直近でも PHP の重大な脆弱性が発覚し、多くの企業でパッチ適用が進められました。しかし、特定の脆弱性の修正という局所的な対応に留まると、セキュリティ上の盲点は残ります。攻撃者の視点では、「管理の手が届いていない検証用 Web サーバー」「設定ミスのクラウド環境」「過去の各種キャンペーン用サブドメイン」など、組織が把握していない可能性のある外部公開資産（シャドーIT）全体が標的となります。そのため、今回の緊急脆弱性対応を機に、自社の公開資産を包括的に、かつ攻撃者視点で点検・洗い出しを行い、適切に対処することがセキュリティ体制の強化につながります。

＜簡易リスクチェックについて＞

自社ドメインに紐づく外部公開サーバーや Web アプリケーションを対象に、攻撃者に悪用される危険性のある PHP 脆弱性の有無をチェックし、特定します。

この簡易リスクチェックを起点に、脆弱性パッチを当てる対症療法にとどまらず、自社の公開資産全体をハッカー視点で把握し、悪用危険性の高いリスクから優先的に対処する体系的な管理への移行を支援します。

実施内容

- PHP 関連脆弱性（PHP2shell）のチェック
- お打ち合わせにて結果を報告

お申し込み方法：以下の専用 Web フォームよりお申し込みいただけます。
URL：https://www.grcs.co.jp/contact-riskcheck

当社は今後も、高度化・複雑化するリスク環境に直面する企業に対し、専門人材によるワンストップ支援を提供し、持続可能な企業成長と社会全体のサイバーレジリエンス向上に貢献してまいります。

＜会社概要＞

会 社 名 ： 株式会社 GRCS
代 表 者 ： 代表取締役社長　佐々木 慈和
所 在 地 ： 東京都千代田区丸の内 1-1-1 パレスビル 5F
設　　立 ： 2005 年 3 月
資 本 金 ： 131 百万円
上場市場 ： 東京証券取引所グロース（証券コード：9250）
事業内容 ： GRC・セキュリティ関連ソリューション事業
U　R　L ： https://www.grcs.co.jp/

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社 GRCS　ＩＲ担当
E-mail: ir@grcs.co.jp